

# 連帯

広島連帯ユニオン機関紙 No.233

〒731-0101 広島市安佐南区八木4-2-5(2階中央)

電話：082-873-1446 FAX：082-873-1475

E-mail：rentai-union@theia.ocn.ne.jp

<http://www12.ocn.ne.jp/~union-hi/index.html>

<http://union-hi.blogspot.com/>

## 8.5～8.6ヒロシマが大成功！

## 青年部が闘いの先頭に！

<8月5日>

### 8.5闘う合同一般労組総決起集会に70名が結集

8.5ヒロシマ世界大会の前段に、闘う合同一般労組総決起集会が広島連帯ユニオンと合同一般労組全国協議会の共催で開催され、全国の合同一般労組から70名が結集しました。広島連帯ユニオン鈴木委員長の開会あいさつと中山草津病院支部委員長の戦列復帰のあいさつで集会が始まりました。



全国協の小泉事務局長による基調は、時代認識を鮮明にし、全国協1000名建設で労働組合を甦らせる最先頭に立っていくことを、しっかり確認するものとなりました。広島連帯ユニオン青年部からも闘いの報告を行い、新自由主義攻撃に団結を拡大して立ち向かい、職場や地域に打って出て青年労働者をユニオンに組織していくことを訴えました。

### 再稼働阻止！全原発廃炉！ヒロシマ世界大会に650名！

8月5日、15時から、8.6ヒロシマ大行動実

行委員会とNAZENの共催で『再稼働阻止！全原発廃炉！ヒロシマ世界大会』が開催され、650名が結集しました。

NAZENの運動が、内部被曝との闘いと、市民運動と労働者の闘いを結合することで、全原発廃炉の闘いの方向性を示しています。集会の冒頭、わがユニオンの中島健さんがヒロシマからの訴えを行い、原爆と原発は別と言い安倍首相を祈念式典に招いた松井広島市長を徹底批判しました。全国・全世界から反核・反原発を闘う仲間が結集し、国際連帯が前進して来た地平を実感できる集会でした。



### 青年労働者交流集会 in HIROSHIMAを牽引！

続いて開催された『ヒロシマとオキナワを結ぶ青年労働者交流集会』では、動労西日本の山田書記長が基調報告、ユニオン青年部が発言に立ちました。仲間の首切りに反対して仕事はずしにあってる青年から、社前ビラ入れ・地域へのビラ入れと10万筆署名で9月雇止めを阻止するとアピール。宮原青年部長が、毎週のように労働相談があり、職場で殺される現実こそ新自由主義の最後の段階、こんな生き

ていけない社会はひっくり返してやる！と集会をリードしました。

また、3つの集会の司会をユニオンの若い仲間が担いきり、青年労働者こそが時代を変える主人公であることを鮮烈に示しました！

### <8月6日>

## 早朝からヒロシマ・アピール集会、安倍の式典出席弾劾！中電本社へ向けてデモ！



8月6日、早朝から原爆ドーム前に950名が結集し、ヒロシマ・アピール集会を行いました。宮原青年部長の司会で始まった集会は、ヒロシマ・アピールを採択して8時15分をむかえ、ヒロシマに始まりフクシマに至る核と原発によって殺されて来た人々の無念と怒りをとにもする黙祷を行いました。



集会後のデモは、フクシマを見殺しにし原発輸出・再稼働を進める安倍首相の祈念式典出席に対して、平和公園の対岸から「安倍首相の式典出席弾劾！」「松井市長は恥を知れ！」と渾身の怒りをたたきつけました。さらにデモ行進は島根原発再稼働と上関原発建設を進める中電本社へ。再稼働反対！全原発廃炉！の聲が中電前を埋め尽くしました。



### ヒロシマ大行動大集会に1250名が結集

午後からは、県立体育館小アリーナでヒロシマ大行動大集会が1250名の結集で開催されました。広島の労働者からは、「8・6年休処分」と闘う教育労働者に続いて、ユニオン草津病院支部の仲間が登壇。新自由主義の命より金儲けの医療に対して、職場の団結を拡大して闘う決意を鮮明にしました。



集会後は、繁華街から平和資料館にむけてデモ行進です。被爆68周年の8・6の闘いを締めくくるデモ行進をユニオンが一丸となってやり抜きました。今年の8・6は、青年部が国鉄決戦と一体となって職場で街頭で奮闘し、広島の労働者の先頭に立って8・6の成功を実現しました。同時にそれはユニオンの新時代を切り拓くものとなりました。







## 青年労働者が地域拠点建設の 最先頭に立つ！

広島連帯ユニオン青年部・広島地域支部 山下 真吾

私は、千葉県に本社を置く、全国でフランチャイズ展開している学習塾“スクールIE”（高陽校）で、1年契約で働いている非正規労働者です。主に、講師としての指導と事務作業が担当業務です。

今年2月、一人の同僚の解雇を示唆した経営者の発言に対して抗議した事を皮切りに、事務作業の仕事外しが始まりました。さらには、経営者の横暴をフェイスブックで暴露した事に対し、始末書を強要する暴挙に出てきました。

この暴挙に激しく怒りを燃やした私は、後日、組合員通告を行い、職場闘争に決起しました。間もなく、仕事外しを始めとした退職強要をやめる事を要求する第1回団交を行いました。資本は、団交で退職強要の事実を否定するのみに留まらず、それから僅か二日後の4月1日、「賃金を払うから出社を控えろ」と2週間にわたる出勤停止のふざけきった報復攻撃を行いました。それ以後、現在に至るまで実質無期限の出勤停止措置を続けているだけでは無く、私が講師や生徒と顔を合わせない様にポストイティングしか業務を与えず、「気に入らなければ出て行け」と職場から執拗に排除しています。

また、私の言動が個人に対する人権侵害に当たるとして、法務局・人権擁護部を通じて反省を求めてきました。6月1日に行った第2回団交においても、経営者は、またもや退職強要の事実を否定し、そればかりか団交の終盤で「上司である私に向かっ

て『ふざけんな！』と暴言を吐くのをやめろ。一切、物も言わずに働け。これ以上、反抗した態度を取り続けるのなら、侮辱罪で訴える！」と恫喝してきました。

それから間もなく、職場へのビラ入れを行いました。資本は、予想通り、警察権力まで呼んで妨害を試みたものの、ほとんどの従業員や生徒がビラを受け取った事で大打撃を受け、万策尽きたのです。

今、事態は重大な局面を迎えています。資本は、最後の悪あがきと言わんばかりに、9月22日の契約更新に乗じた解雇を策動しています。こんなふざけた攻撃は断じて許せません！

この間、私は、職場闘争と並行して行った地域の職場まわり、街頭での国鉄10万署名から多くの事を学びました。その中でも重要だと感じたのは、組合員一人ひとりが、「活動家」として地域に打って出て拠点職場を作る事です。

破産した「新自由主義」にしがみついた資本家に対する青年労働者の怒りは、沸点に達しています。この現代社会にはびこる「ブラック企業」と対決する労働者に求められている方針は、「非正規職撤廃」「闘う労働組合の再生」です。2000万青年労働者を先頭に、6000万労働者階級の「倍返し」で、この腐敗した資本主義体制にとどめをさしてやりましょう！



## オキナワとヒロシマを結ぶ青年労働者交 流集会・特別報告

草津病院支部委員長 中山崇志

皆さんお久しぶりです。今年の3月19日に完結・非転向で山口刑務所から出獄しました。ただいま！

皆さんの激励・支援・共闘により、日々勇気ももらい前進することができました。ありがとうございました。今回の特別報告で、今になってはつきりした国家権力と資本による草津病院支部弾圧の狙いと労働組合の組織拡大と団結強化について報告します。

3年前の4月ごろから、組合の組織拡大の為に職

場の青年と定期的に食事会や遊びに行くなどの交流を5～6人で行って行きました。これと平行に、組合では職場の安全闘争を本格的に開始する為に戦術など支部会議で検討していた矢先の逮捕でした。

この逮捕は、3年前の国鉄闘争集会に関係があります。国家権力はスパイ荒川をつかい国鉄闘争・動労千葉派の労組を分断し壊滅もしくは弱体化させるために、動労千葉派の労働組合を目指す組合や青年が中心となり組合活動をしている組織をつぶすため

に、全国各地で調べ上げた結果、私にその矛先が来たのです。

そして、私の逮捕は国鉄全国運動がスタートする6・13集会の3日前におこったのです。国鉄闘争集会に打撃になるのであれば、国家権力は青年であれば誰でもよかったのです。そして、草津病院資本は労働組合をつぶすためであれば国家権力に手を貸し協力したのです。絶対に許すことができない！

しかし、労働組合は獄内外一体となり一歩も引かず国家権力・草津病院資本に真っ向から闘いました。組合は、緊急会議をおこない「一人の仲間も見捨てない」を合言葉に組合員ひとりひとりが意思一致できるまで討論しました。今まで、路線や時代認識で一致できない事もあった組合員がこの弾圧で「資本とはなにか？国家権力とは何か？」を実体験

でつかみ、今、労組が団結しないとつぶされると感じ団結を求めて闘い、一人の脱退者を出さずに職場で必死に踏ん張りました。この弾圧で、労働組合は強固な団結をつくりました。労働者は、弾圧されればされるほど団結が強くなることがわかりました。本当に、『弾圧ありがとう』。逆に弾圧で一人の職員が決起し労組に加盟しました。

最後に、国家権力・草津資本の弾圧は団結強化・組織拡大・私が完黙・非転向で出獄した時点で弾圧を完全に粉碎しました。あとは、職場生産点の主導権を握り何年かかっても職場復帰することです。今月から、出獄りハビリをおえ労働運動に復帰します！よろしくお願ひします。

以上、特別報告と出獄・復帰のあいさつとさせていただきます。



## 8.6ヒロシマ大行動大集会 広島の労働者から

草津病院支部

私達は今、命より金儲けの新自由主義社会の中で、怒りを感じながら日々必死に闘っています。文字通り命を預かる医療福祉の現場に於いても、営利優先の経営方針から職場の安全は崩壊し、労働者を使い捨ての駒の様に働かせる合理化が推し進められています。

新自由主義とは誰の為の自由なのか？職場で合理化が進むという事は働く私達にとってどういう影響を及ぼすのか？さも良いこと当たり前の事という様に資本が押し付けてくる事は命より金儲け優先主義です。自分たちさえ良ければ駒として働く者たちはどうだろうと構わないという傲慢、嘘をつき保身を第一とする欺瞞に満ちたものです。福島原発事故後の国や東電の姿がそれを物語っています。

この様な現状の中、職場で最も怒りを感じるのは、重大な事故が起きた際に、病院当局から他部署の現場の職員に対して何も知らされない事です。日常的な危険には見て見ぬふりをし、いざ事故が起これば部外秘や箝口令で隠蔽、無責任極まりない態度

です。これも国が福島事故後にとった態度と全く同じです。怒りは福島と繋がっています！

核と人類は相容れないのと同じように、資本家階級と労働者階級は絶対非和解の関係で有る事が原発事故の下で明らかになってきたと感じました。私達にとっての真の敵は何かが見えてきたと思います。

マルクスの言葉を引用して言えば、際限無く利潤を追求する悪魔に魅入られた資本家階級と、今の国家は破滅の道を突き進むしか術を知らない愚者そのものです。生きること、未来を築くことの出来る人間である私達はその誇りを持って声を挙げ、生きていく社会を変えて行きましょう！

命より金儲けの新自由主義の中で生まれた核と原発・原子力(核)産業の廃絶を、全世界の人類の誇りと尊厳をかけて一丸となって闘って行きましょう！

今日、私はこの場に立って、国や地域・産別が違えど同じ想いで立ち上がっている多くの方の力を実感し、金儲け優先の社会を打ち破り変えて行く事は出来る！と確信しました。共に闘い抜きましょう！

### スケジュール

- 8月24日 (土) 13:00 ひろしま労働学校 (幟会館/広島労組交流センター)
- 9月 8日 (日) 12:30 徳島刑務所デモ (徳島市入田町春日橋たもと/同実行委員会)
- 9月15日 (日) 13:00 9.15総決起集会 (代々木公園ケヤキ並木/動労千葉・国鉄闘争全国運動)
- 9月21日 (土) 13:00 ひろしま労働学校 (幟会館/広島労組交流センター)